

(証券コード：6594)
<https://www.nidec.com>

2025年3月期 第3四半期

決算説明会

ニデック株式会社

Nidec
→All for dreams



Smart-FLEXWAVE
Built-in Multi Sensor

－注意事項－

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

前頁の写真は当社子会社であるニデックドライブテクノロジー㈱が発売を開始した、機能安全認証を取得したトルクセンサ内蔵型精密減速機「Smart-FLEXWAVE BDシリーズ」です。センサシステムの二重化と産業機器の機能安全規格に適合することで、協働ロボットに必要な安全性を実現しています。 <https://www.nidec.com/jp/product/news/2024/news1225-01/>

■ 連結決算業績



(億円)	23年度 第3四半期 (累計)	24年度 第3四半期 (累計)	増減率	24年度 通期見込
売上高	17,451	19,460	+11.5%	25,000
営業利益	1,671	1,755	+5.0%	2,400
営業利益率	9.6%	9.0%	-	9.6%
税引前利益	1,915	1,825	△4.7%	2,500
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,442	1,346	△6.7%	1,850
一株利益 (円) (※)	125.51	117.14	△6.7%	160.98
対米ドル為替レート 平均・・・	143.29円	152.57円	+6.5%	<想定レート> 米ドル=145円
期末・・・	141.83円	158.18円	+11.5%	ユーロ=155円 (4Q想定レート)

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円 (全てFY24通期ベース)

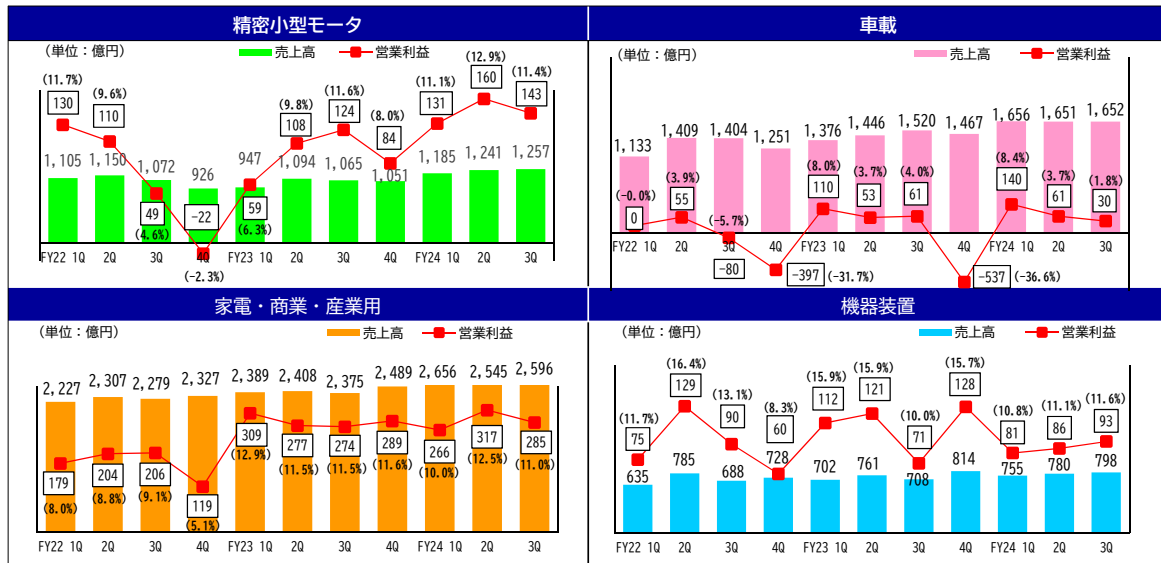
(※) 当社は、2024年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、一株利益を算出しています。

3

■ 製品グループ別、四半期業績推移



()内の数字は営業利益率

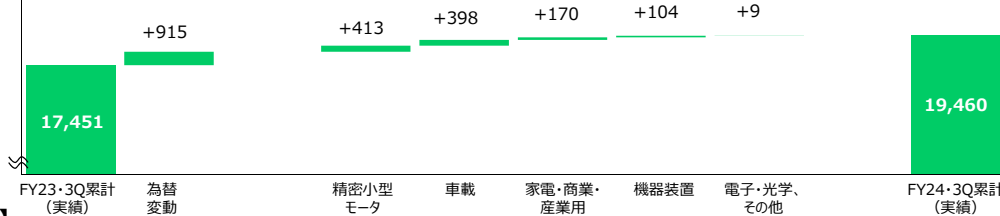


4

2024年度3Q(累計)の前年同期比増減分析

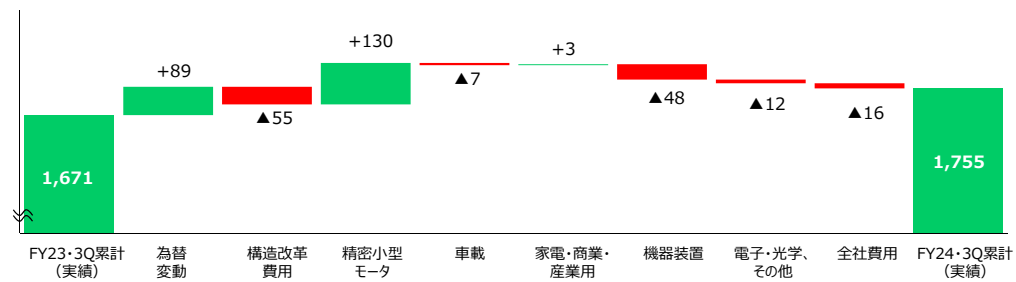
【売上高】

(億円)



【営業利益】

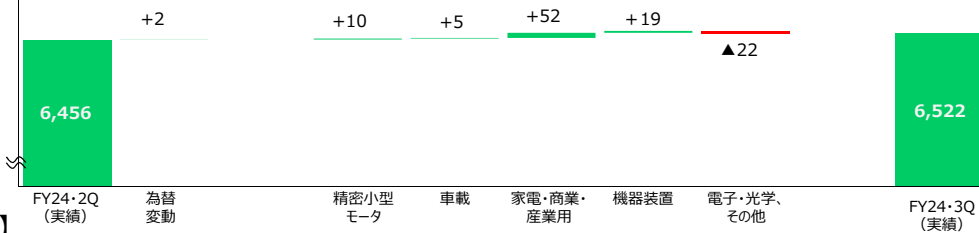
(億円)



2024年度3Q(3か月)の直前四半期比増減分析

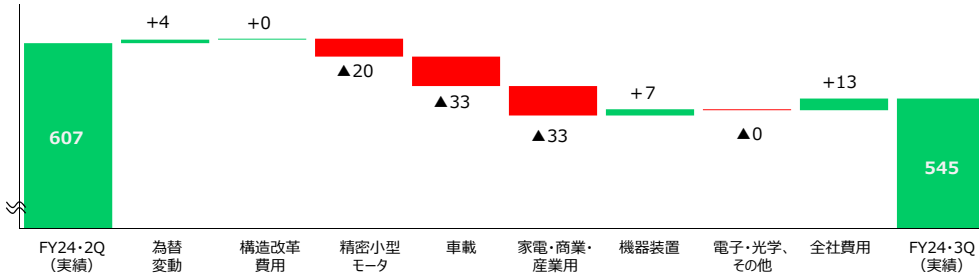
【売上高】

(億円)



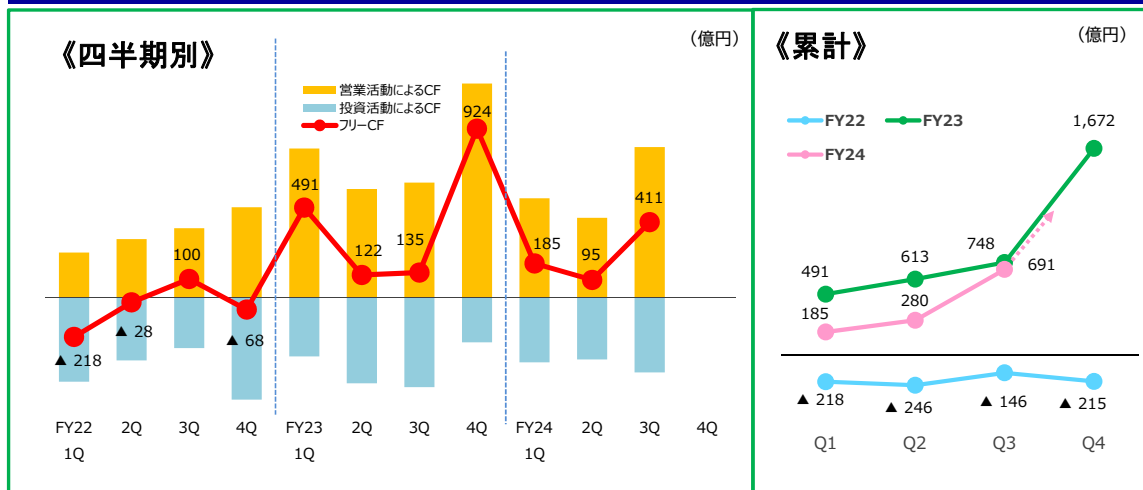
【営業利益】

(億円)



■ キャッシュフロー経営の推進

キャッシュフロー創出力を向上し、企業価値最大化
(成長投資、株主還元、有利子負債コントロールへ最適バランスで配分)



7

■ 決算ハイライト

- 連結売上高は前年同期比11.5%増収の1兆9,460億円となり、3Q累計で**過去最高を更新**。
- 営業利益は、前年同期比5.0%増益の1,755億円となり、3Q累計で**過去最高を更新**。
- キャッシュフローは**過去最高水準を継続**。

8

3Qトピックス

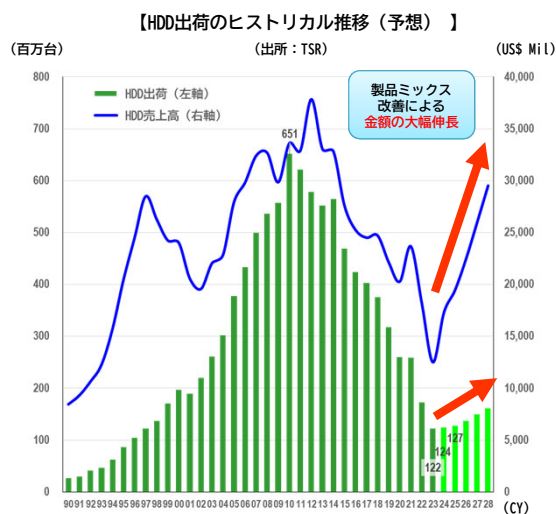
9

■ 精密小型モータ：データセンター需要増によるHDD市場のミックス改善

Better Life &
AI社会を変える

Nidec
-All for dreams

CY23をボトムにHDDは漸増。出荷金額の伸長率が数量増率を大幅に上回るトレンドへ



- HDD出荷数量はCY23の年間122百万台でボトムアウト。CY24から漸増トレンドを予想。
- HDD出荷金額も同様にCY23でボトムアウトも、データセンター向けニアライン需要増がミックス改善を強力に促し、数量増率を金額増率が大幅に上回るトレンドを形成。
- この傾向が、当社HDDモータのミックス改善にも寄与（次頁）。

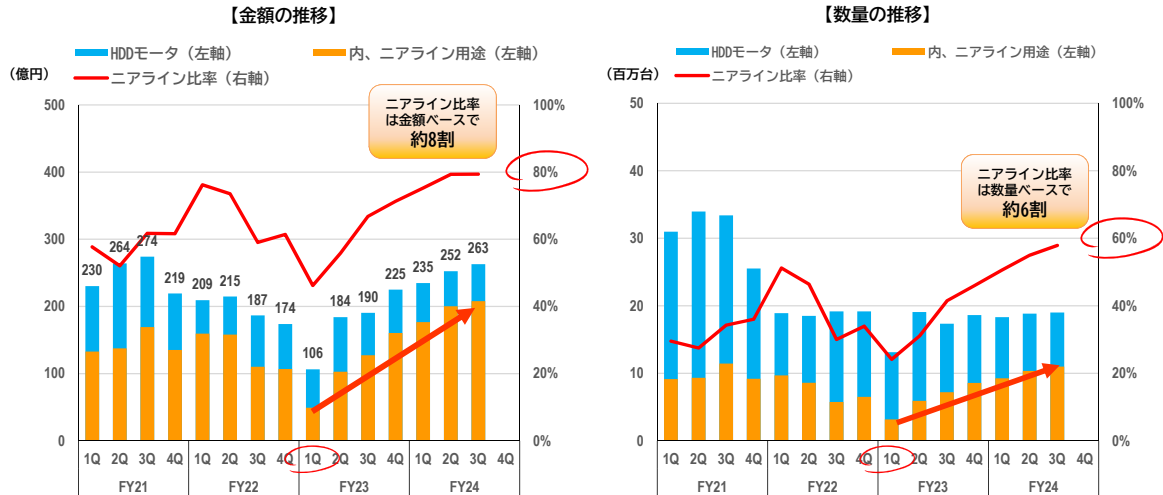
10

■精密小型モータ：当社HDDモータの製品ミックス改善

AI社会を
支える

Nidec
-All for dreams

FY23・1Qを起点とした製品ミックスの改善は、特に金額ベースにおいて顕著



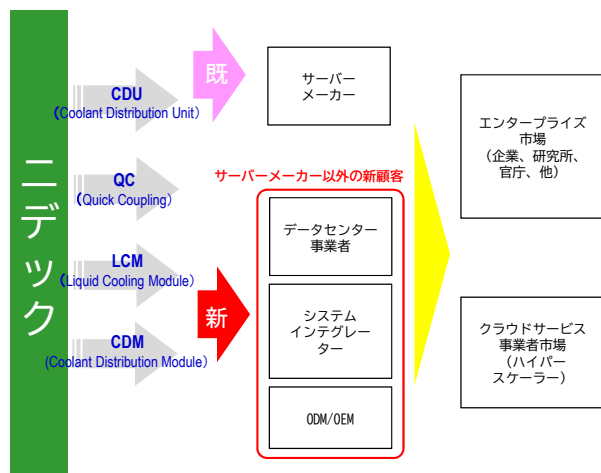
11

■精密小型モータ：水冷モジュールは新たな展開へ

AI社会を
支える

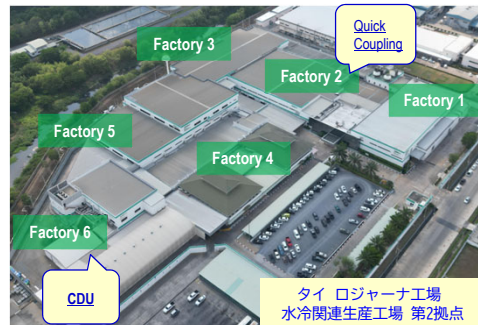
Nidec
-All for dreams

従来のサーバー製造顧客向けに加え、データセンター事業者やODMからの引合いが殺到



【タイ 水冷関連製品 第2の生産拠点稼働準備】

タイ ロジャーナ工場を水冷製品の 第2の拠点として立上げ、
CDU と Quick Coupling 生産を2025年4月までに準備完了する



さらに、Quick Coupling は、中国工場、
フィリピン工場の本格的な生産準備開始

12

IOWN* Global Forumに参加

*Innovative Optical and Wireless Network **Nidec** -All for dreams

次世代通信技術によるビジネス領域の広がりを捉え、より良い社会実現に貢献する



次世代光ネットワーク・コンピューティング
基盤実現を目指す国際フォーラム
アジア・欧米含む130を超える組織が加盟（現在、当社は加盟申請中）

低消費電力 消費電力効率 100倍	大容量/高品質 伝送容量 125倍	低遅延 遅延低減 200倍
--------------------------------	--------------------------------	----------------------------



IOWN

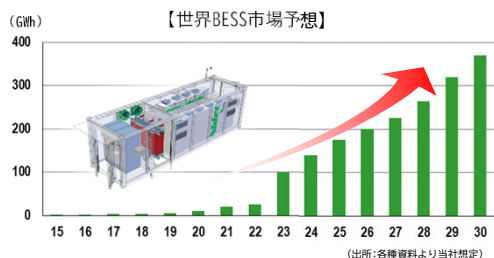
- Smart City
- Smart Grid
- Optical Data server
- Remote Robot Operation
- Mobility Management

家電・商業・産業用：バッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）

サステナブル・インフラとエネルギーの追求 **Nidec** -All for dreams

再生エネルギー普及、電力需要急増によるグリッド安定化を背景に急成長するBESS需要を獲得

【Nidec は世界28か国150のBESSプロジェクト実績（8GWh超）】



仏リヨン郊外に点在する建物9棟を
新工場に集約し**効率化とキャパを拡充。**
さらなる成長と高収益を目指す。



■ 機器装置：工作機械の戦略 牧野フライス製作所へのTOB開始予定

産業の生産効率化



世界屈指の総合工作機械メーカーとなり、ソリューション企業集団の一員として共に成長する

事業戦略

□ 製品群の拡充

- ワンストップソリューション

□ 規模の拡充

- 購買力向上
- 収益力強化

□ リスク分散

- 地域・産業・顧客

□ グローバル生産

- 地産地消
- 既存工場の再編成で迅速な生産体制を構築

	牧野フライス	NIDEC	
製 品	マシニングセンタ (立形 / 横形)	○	OKK
	フライス盤	○	OKK
	放電加工機	○	-
	レーザー / 3Dプリンタ	○	ニテックマシンツール
	大型機 (門形機 / 横中ぐり盤)	-	ニテックマシンツール PAMA
	旋盤	-	TAKISAWA
	歯車機械	-	ニテックマシンツール

15

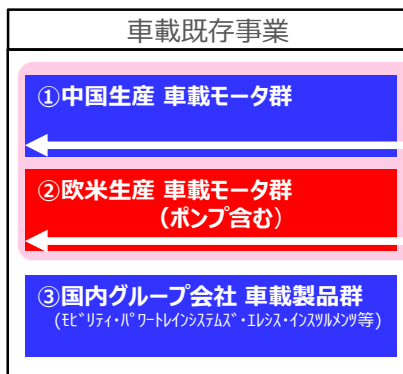
■ 車載事業の組織強化

モビリティ
イノベーション



地域軸、製品・事業軸での最適化による更なる競争力の強化を図る

欧米オペレーションに強みを持つ“家電産業事業本部(ACIM)”に“車載事業本部(AMEC)”の既存事業を統合
→家電・車載事業統括本部”を新設 (25年1月1日組織変更済)



ACIM

地域毎の強力な横串機能によりオペレーション(調達・生産・物流)を統合し、再建・競争力強化



✓ 新設した“家電・車載事業統括本部”を率いる Valter Taranzano 専務執行役員 (中央)

✓ 車載工場を視察し、統合を加速

16

■ 既存の枠を超えて、挑戦し続ける ～FY27までの3カ年の方向性～



50年をかけ構築した強み(事業・技術・人財等)を武器に、更なるグローバル企業へ進化させる

■ 既存の事業単位の枠を超えた強みの活用で、経営課題を短期解決・成長加速

- 【ACIM・車載既存事業統合】 強力な地域ごとの横串機能で車載の欧・米・中国事業を再生・強化
- 【モビリティ・エレシス統合】 電装・制御に関わる技術・人財を結集し、急成長需要へ応える
- 【One Automotive連携】 車載事業に携わる全社の連携本格化で更なる付加価値と事業機会を創出

■ 地域軸での“One Nidec”活動を強化

- 【インド成長戦略】 成長市場に、現地主導の事業横断体制を構築し、事業育成基盤構築
- 【拠点統廃合】 事業部を跨った抜本的な統廃合に着手

■ 創業者の強いリーダーシップによる経営から、組織機能体制を構築し“仕組み化”

- 【オペレーション・DX改革】 PSI強化・システム導入活用アップ・自動化推進 等
- 【本社機能グローバル強化】 人選・育成とグローバル組織体制構築、経営管理システム検討
- 【技術戦略コミッティ】 技術・IP・人財の棚卸→ソフト／制御強化、技術領域ごとの強化計画

FY24下期より部分的に着手開始 → FY25からの3カ年でグローバルに全面展開

17



お問い合わせ先

ニデック株式会社 IR部

Tel : 075-935-6140

E-mail : ir@nidec.com

18

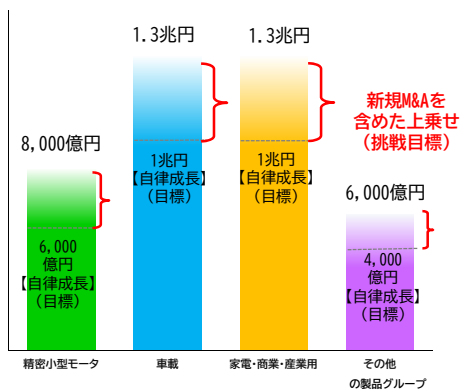
業績推移・ 製品グループ別状況

■中期戦略目標 Vision2025

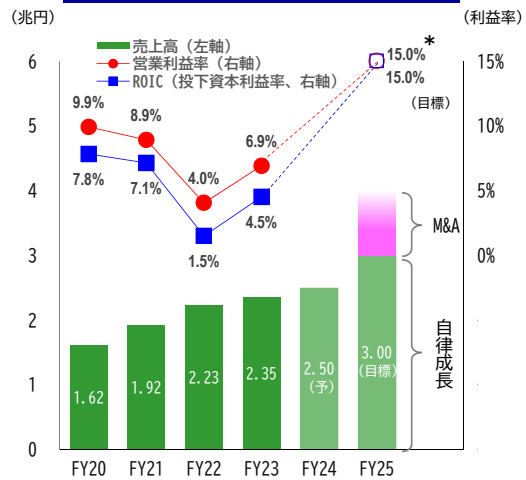


2025年度
売上高：4兆円（目標）

売上高目標4兆円を製品グループ別に分解



売上高3兆円（営業利益率15%）
とM&A1兆円で、計4兆円

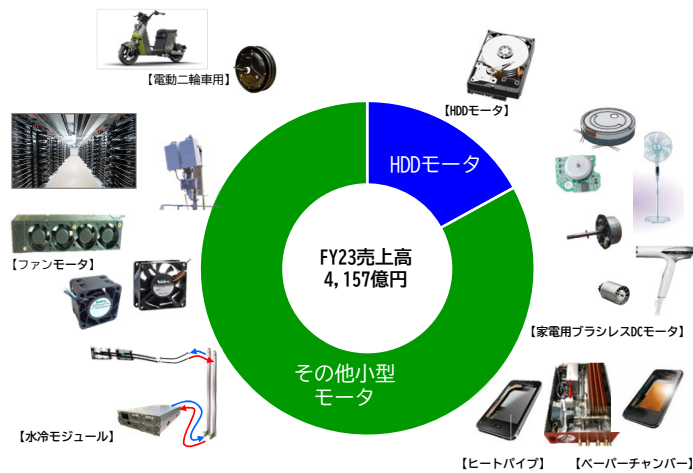


* 2025年度の営業利益率目標15%は、自律成長（売上高3兆円分）に適用。

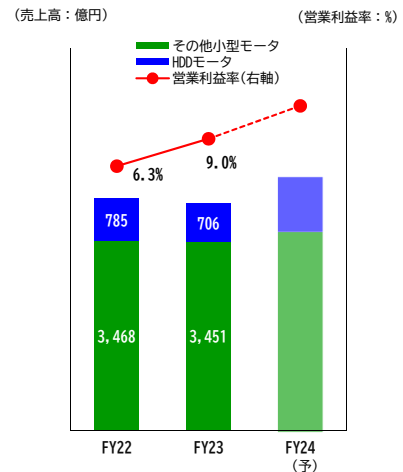
■精密小型モータ：サブセグメント別業績の内訳と推移

FY23中盤以降IT関連需要はスローながらも回復途上。生成AI関連で新ビジネスの萌芽

【精密小型モータの売上高ポートフォリオ】

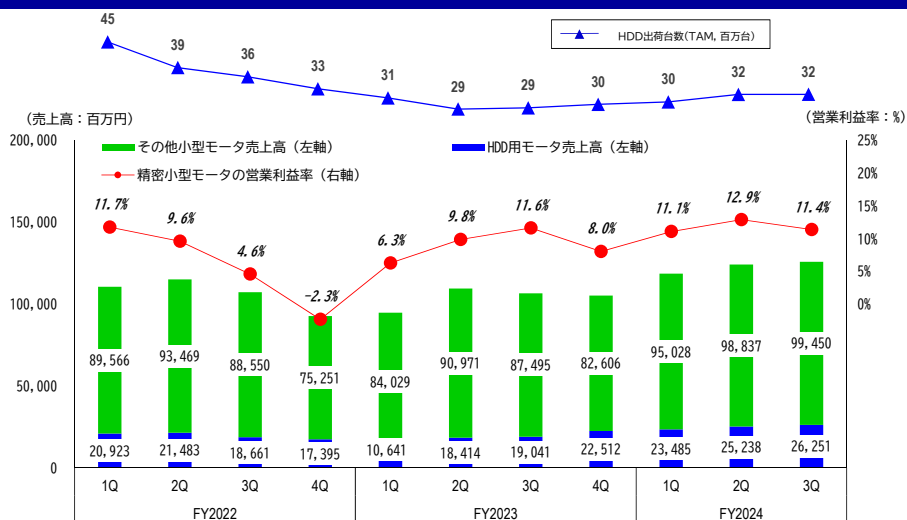


【精密小型モータの売上高と利益率推移】



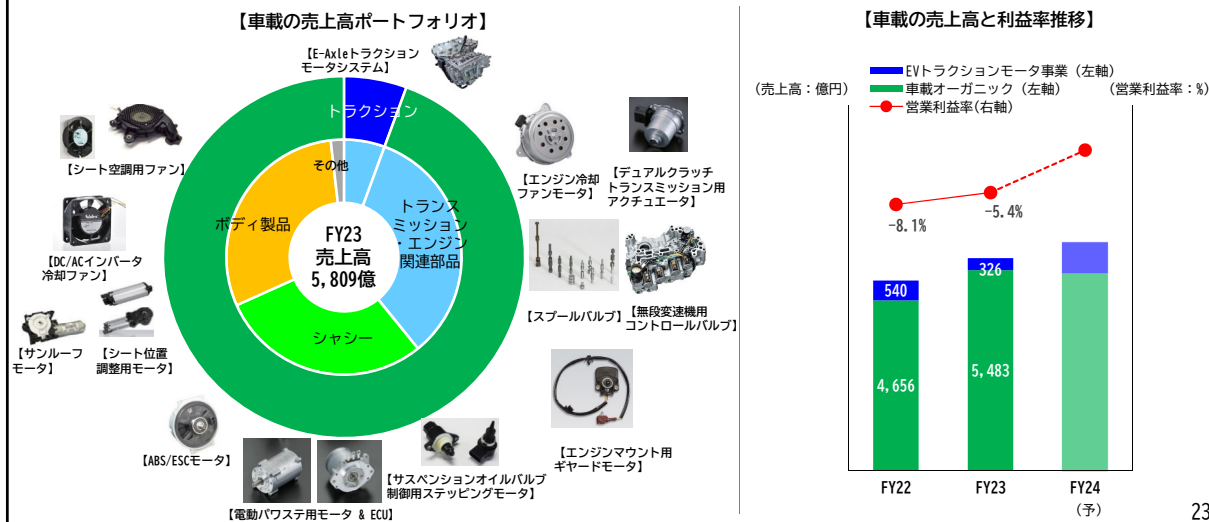
■精密小型モータ：四半期別業績推移

中期成長を見据えた種蒔きと短期業績の回復に向けた **WPR-X** 活動を同時に推進



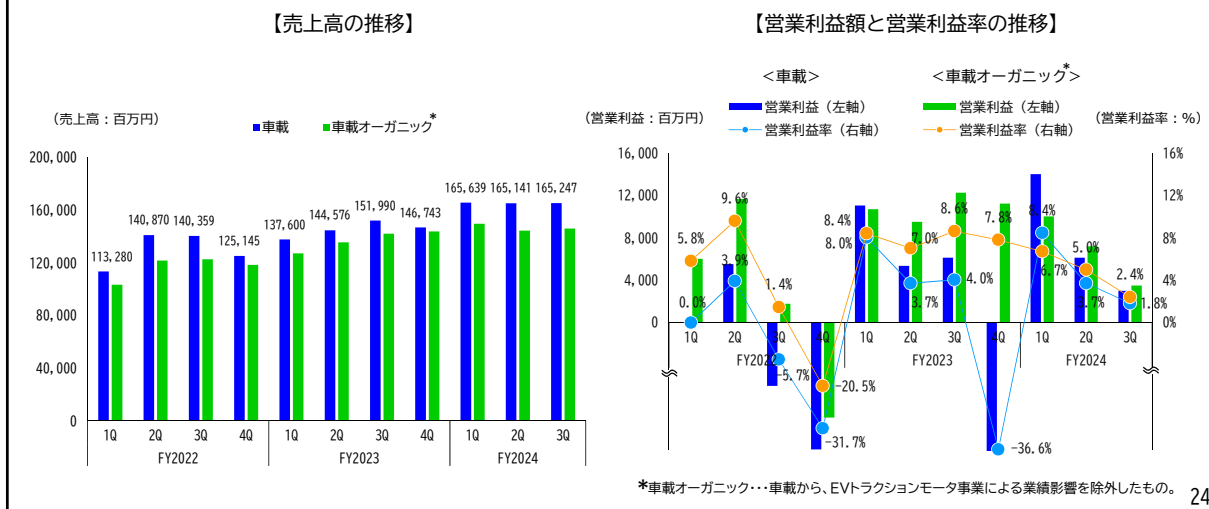
■ 車載：モータから周辺部品まで幅広く取り揃え

CASE革命による旺盛な電動化需要を待ち伏せし世界No.1の車載システム企業を目指す



■ 車載：四半期別業績推移

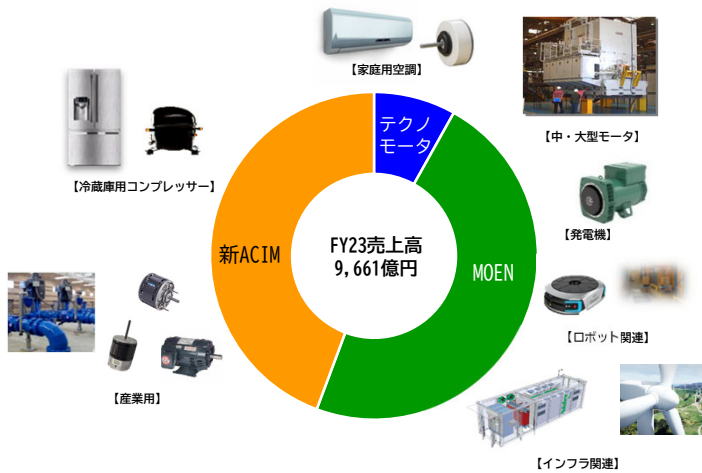
FY23の構造改革を経てV字回復へ。収益体質の強化に向けた体制を整備



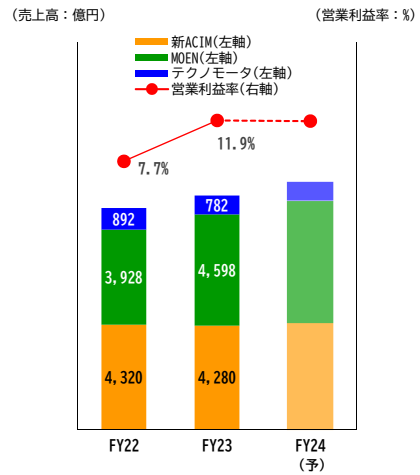
■家電・商業・産業用：サブセグメント別業績の内訳と推移

新ACIMとMOENが成長を牽引、収益性も2桁盤石の段階から今後は15%達成を目指す

【家電・商業・産業用の売上高ポートフォリオ】



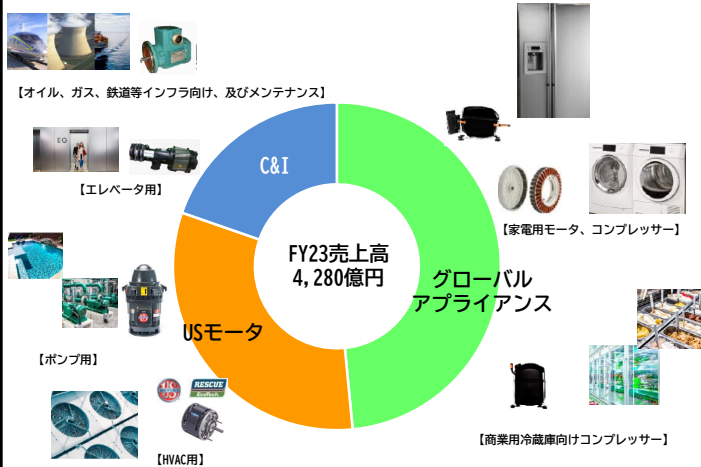
【家電・商業・産業用の売上高と利益率推移】



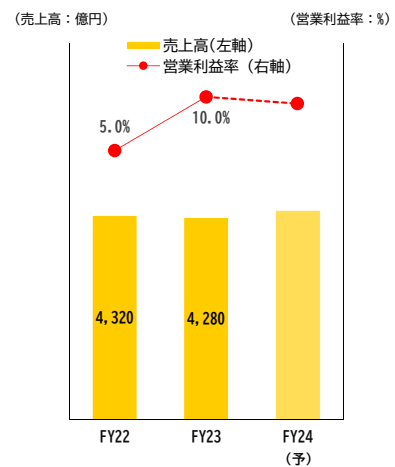
■家電・商業・産業用：新ACIM内訳と業績推移

グローバル家電市場は未だ調整局面も、年度後半の復調に期待しつつ収益改善に注力

【新ACIMの売上高ポートフォリオ】

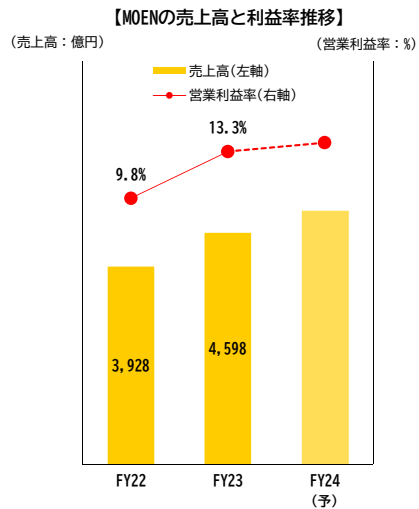
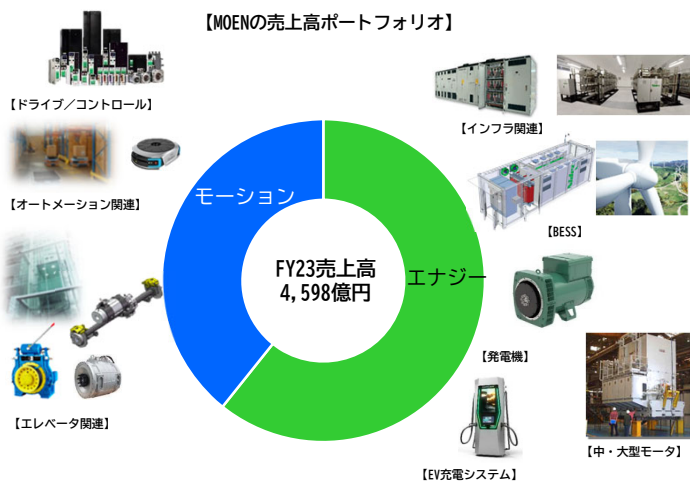


【新ACIMの売上高と利益率推移】



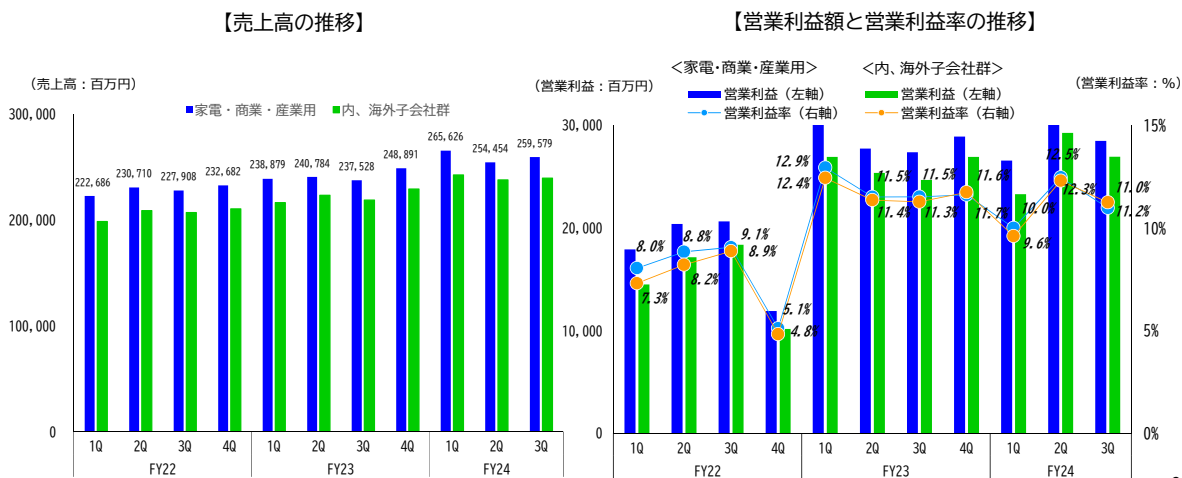
■家電・商業・産業用：MOEN事業の内訳と業績推移

産業及びインフラ関連需要は引き続き堅調。着実な収益改善を目指す



■家電・商業・産業用：四半期別業績推移

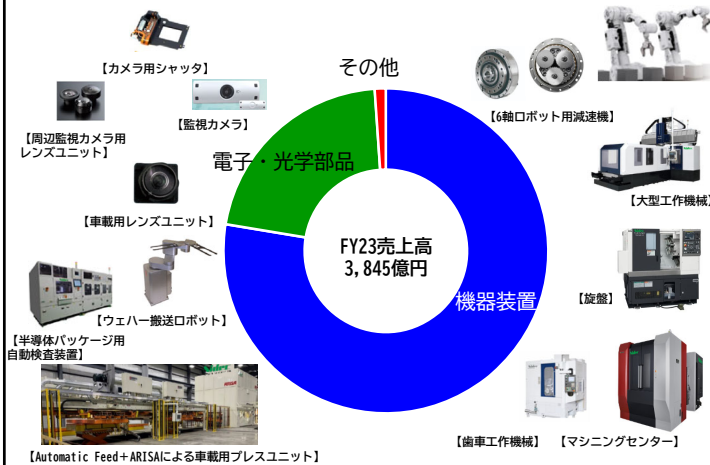
発電機やクリーンエネルギー市場の追い風を受け、海外子会社の収益性改善が進展



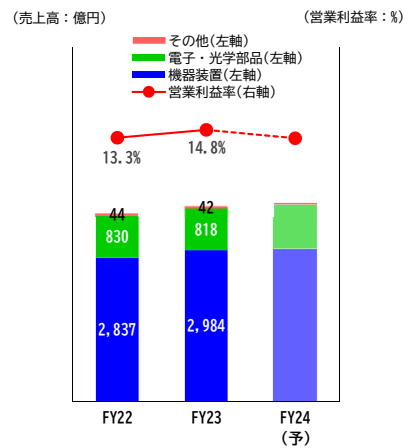
■ その他製品グループ：セグメント別業績の内訳と推移

FY23より機械事業本部が始動（減速機・プレス機・工作機械）、機器装置の高成長を牽引

【その他製品グループの売上高ポートフォリオ】

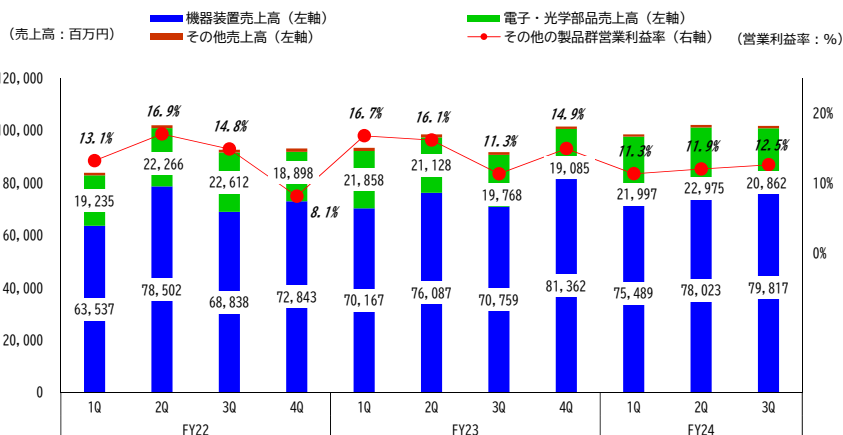


【その他製品グループの売上高と利益率推移】

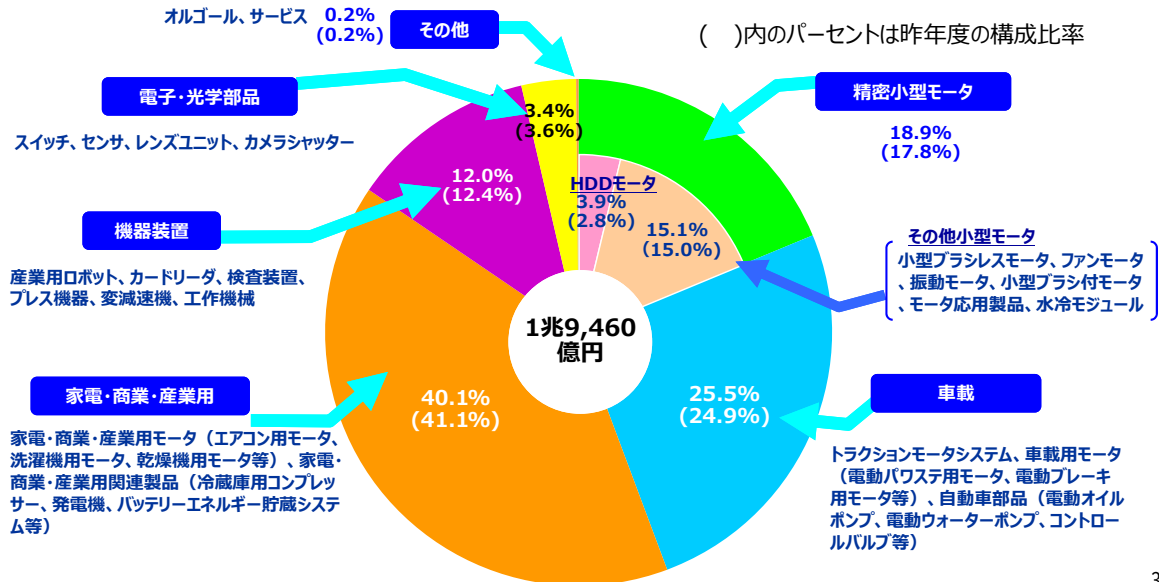


■ その他の製品グループ：四半期別業績推移

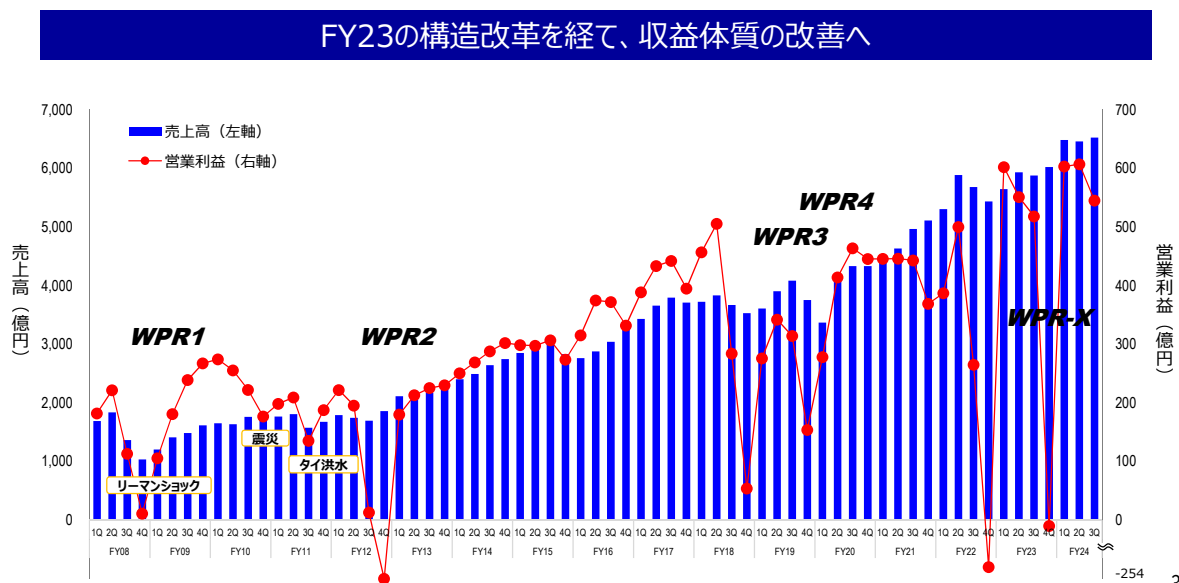
製品ラインナップの拡充やクロスセルによるシナジー効果を追求、更なる収益性改善を狙う



FY24/3Q、製品グループ別売上構成

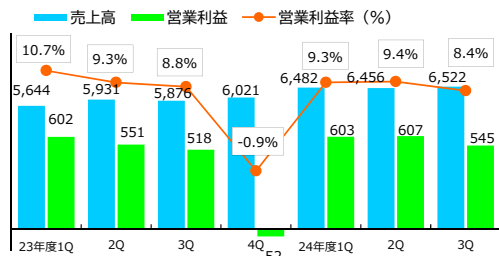


四半期別の業績推移（売上高・営業利益）

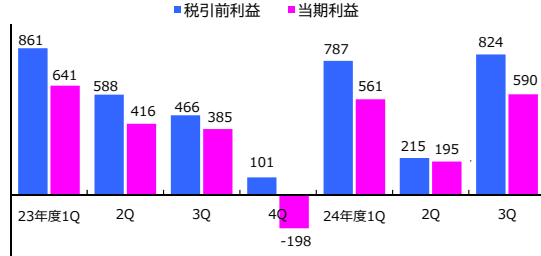


■ 連結決算ハイライト

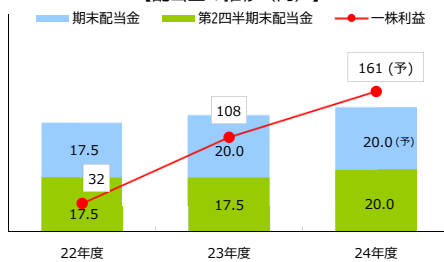
【売上高・営業利益の推移（億円）】



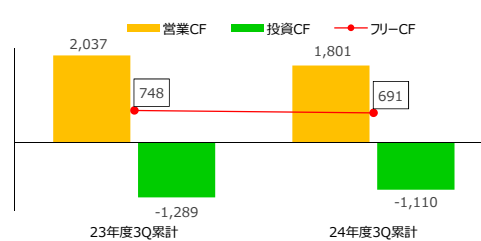
【税引前利益・当期利益の推移（億円）】



【配当金の推移（円）】



【キャッシュフローの推移（億円）】



(注) 2024年10月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。上記は2022年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「一株利益」及び「配当金」を算定しております。